

## 青春～アオハル～

天童高等学校  
1年次通信第24号  
令和4年12月8日

「後期中間考査を終えて」

昨日で後期中間考査の全日程が終了しました。

みなさん、本当にお疲れ様でした。考査前に、何人かの生徒が学習の中で生じた疑問点を職員室前や教室で教科担任の先生に質問する様子がみられました。

そうした姿に、学習課題に対して自ら解決を図ろうとする意識と今回の考査にかける強い意気込みを感じました。考査を終えて、冬季休業に入るまで2週間の学校生活の期間に実践して欲しいことを3つ述べます。心によく留めて必ず実践してください。

### 1 返却された解答用紙の見直しを行うこと。

早ければ本日の授業から解答用紙が返却されます。

日頃から話をしていますが、何事においても大切なのは、物事を終えた後の「振り返り」です。解答用紙の見直しをとおし、知識が確実に定着しているか、自身の考えが的確かつ明確に答案用紙に記述されているか、必ず振り返るようにしてください。このような取り組みは、今後の高校生活の中で、きっと大きな成果となって表れてくるはずです。

### 2 冬季休業までの期間、課題等の提出を徹底すること。

課題等の提出、この重要性についてはみなさんすでに十分に分かっていることです。各教科担任の先生から指示をされたものはもちろんのこと、図書の返却その他報告に関するもの全てです。

やるべきことを確実にやり遂げることは、その人の信頼につながります。抜けていることはないかも一度確認し、もしあれば早急に行ってください。

### 3 冬季休業までの予定、入ってからの予定をよく確認しておくこと。

学校や年次として冬季休業に入る前、様々なことが行われます。

特に年次では、科目「産業社会と人間」の授業の中で、本格的な探究型学習への本格的な取り組みを予定しています。また、冬季休業に入ってから、主に進学者を対象とする冬期講習が実施されます。本校で行われる一つ一つの取り組みを決して無駄にしないためにも計画をよく確認し、目的意識をしっかりと持って臨めるよう十分に準備をしておきましょう。

年 次 主 任